

## 2020 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 赤穂市立原小学校 ] 担当教諭名 [ 久保 僚子 ] ( 6年1組 6名 )


相手国・地域 [ ネパール ]

海外学校名 [ Mount View English Boarding School ] 担当教諭名 [ Ranjeela Rajthala ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単 元 名	時間数
	総合的な学習の時間	心をつなごう アートマイル	25
	外国語	自己紹介をしよう	3

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	COVID-19 Improve clean water and sanitation -Healthy life and good relationships-
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	COVID-19 によって、世界がパニックとなり、日本でも相手国のネパールでも日常の生活に多くの制限がかかることとなった。その中で、何が大切か、健康とは何か、どのような環境が必要なのかを考え、「今、大切にしたいもの」を壁画に表した。
	

### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを活用して、COVID-19 の実態と世界の現状を調べることを通して、情報処理能力を身に付けることができた。</li> <li>・相手国についての調べ学習をする中で、異文化に触れ、世界へ目を向けることができた。</li> <li>・「今、自分達に大切なもの」を話し合う中で、SDGsについても考えを広げることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手国が学校閉鎖していたため、活動を共有することが難しかった。</li> <li>・Zoom により交流をしたが、相手国児童の話す内容を理解するには、英語力が足りないと感じた。あらかじめ、児童が話す内容の大体を教師が理解しておかないと会話が成立しなかった。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手国のことをインターネットで調べたり、交流してその様子を知ったりすることで、互いの言葉や文化、風習などを知ることが国際理解につながると考えることができるようになった。</li> <li>・SDGsについて考えることで、自分の生活がどのように世界とつながっているのかを感じる事ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsについて、家庭科の学習でも触れたり広告等で見かけたら朝の会で取り上げたりするようになり、教師の SDGs についての意識も高まった。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	7月 8月	・相手国であるネパールについて、インターネットで調べる。 ・自己紹介、学校紹介のパワーポイントを作成し、ネパールへ送る。	・改めて自校の特色について話し合うことで、自校のよさを感じることができた。 ・相手国の言語や食べ物などについて知り、興味をもつようになった。	総合6
共有 テーマ学習	9月	・COVID-19 についての調べ学習をする。 ・SDGsについて考える。	・インターネットを用いて、COVID-19 についての調べ学習をする中で、今の自分達の現状を正しく認識するようになった。 ・世界には、手洗いやうがいに必要な清潔な水を得られない人がいることを知り、環境や医療、教育などの問題に関心をもつようになった。	総合6
融合 メッセージ作成	10月	・学習したことから、「今、自分達が大切にすべきもの」について話し合う。	・相手国が閉鎖しているため、相手国との交流はできなかったが、COVID-19 を世界的な視野で見て、「医療・教育・友達・家族・清潔な水」など、今の自分達に必要なものについて考えを広げることができた。	総合3
創造 壁画制作	11月 12月	・壁画のデザインについて話し合う。 ・壁画を制作する。	・自分達が話し合った「大切なもの」が伝わる壁画デザインを考えるなど、思いを表現しようとする意識が育った。	総合8
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	・ネパールと Zoom での交流会を行う。 ・振り返り ・まとめ	・Zoom 交流会で、自分達の壁画への思いを相手国に伝えることができ、達成感を味わうことができた。 ・自分達の生活だけではなく、世界の人々の豊かな生活や幸せについて考えることができるようになった。	外国語3 総合2

■アートマイルでつけた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	相手国の文化について調べる中で、日本とは違う習慣がたくさんあることを知った。「言葉や食べ物などの文化の違いを認め合うことが、仲良くなるきっかけである」と考えることができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	SDGsについて話し合った際には、当たり前だと思っている自分の生活について客観的なものの見方で考えようとした。
主体的に考え行動する力	4	自己紹介・学校紹介パワーポイントを作成したときには、その内容を自分達で決め、写真を撮り、文章を考えるなど、積極的に活動できた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	3	相手国が学校閉鎖していたため、相手国との協働という点では深まりがなかった。開校後に Zoom での交流会を行った際には、自己紹介や壁画に込めた思いを伝えられたことで達成感を味わった。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	「今、大切にしたいもの」を考える活動では、自分達の生活を守るものや豊かにするものなどを話し合い、どのような壁画にしたいのかを考えることができた。また、壁画に込めた思いを簡単な英文にして、相手国に伝えることができた。